

□議員名：矢 田 松 夫

1 山陽小野田市立山口東京理科大薬学部建設

論点	建設にあたり、どこがどのように誤認があったのか。
回答	市が適正に工期を確保しなかったことからの、工期の遅延や危険物の貯蔵に関する関係法令への抵触など、さまざまな問題が生じ、市民の皆様に変なご心配とご迷惑をおかけしました。

論点	工期の延伸にともなう発注ミスが発生した金額は、4億3461万560円で間違いないのか。
回答	設計と工事を別々に計算した結果、合算すればそのような金額になる。工期が伸びたことによる金額の変更があったが、特に職員による損害とは考えていない。

論点	薬学部A棟建設が遅れた責任の所在を明らかにすべきではないか。
回答	現在、検証作業を進めている中で、総額120億円という大きなプロジェクトであり、慎重に検討をして全体像を見ながら最終的な判断をする。現在は明確に責任の所在を申し上げられない。

論点	いつまでに検証作業が終わるのか。議員の任期中に中間報告でもできないか。
回答	ある程度まとまれば、中間でも報告をしていきたいが、責任とか賠償ということになり、法的な問題もからんでくると認識しているので回答が出来ない。

論点	来年3月までに「中間報告」をするとお答えください。
回答	責任ということを公表すると実害が伴うので、事情、状況説明の方向性なら何とか回答が出来る。

論点	公文書の見落とし、職員の誤認があって、結果として実害が出たことによる、対象職員を処分すると言われたがどうなっているのか。
回答	精査をしたうえで、抵触するかの判断は慎重にしていく。